

みしま



◎特集
本を読みに行こう
町民センターに
新しい図書コーナーができました

白銀の世界 雪遊び満喫

雪遊びを楽しむ「すってん
コロリンピック」が2月22日、
町営スキー場で開催されまし
た。親子連れなど約50名が参
加し、雪上フラッグ=写真=
やスラローム、くじ付きみか
んまきなどを楽しみました。

2009
3

広報みしま No.192

短編小説



ちょっと長めのショートショート

星新一・著
理論社

星新一の短編小説シリーズ。「恋がいっぱい」は、キューピットが突然恋の矢を放ち始め、町中の人々が恋人同士になっていきます。さて、その結末は…。中学生におすすめの一冊です。

いわさきちひろ



あかまんまとうげ

いわさきちひろ・画
岩崎京子・文
童心社

主人公かっちゃん、お母さんに赤ちゃんが生まれるので、おばあちゃんの田舎へ預けられるお話です。いわさきちひろの優しい絵が、読む人を幸せな気持ちにさせてくれます。

しかけ絵本



せかいいちながいへび

みやざきひろかず・作
教育画劇

表紙をめくるとページがつながっていて、長いへびが現れます。冒険好きのねずみさんと一緒に、へびのしっぽを探してみましよう。

やさしい本



いやだいやだ

せな けいこ・文 絵
福音館書店

ルルちゃんは「いやだいやだ」とママを困らせます。すると、ルルちゃんの周りの何もかもが「いやだいやだ」と言い出しました…。2歳ぐらいのお子さんに読んであげたい絵本です。

恐竜と怪獣



おおぞらをとんだきょうりゅう

マイケルサーモン・文 絵
戸田早紀・訳
文溪堂

翼を持たない恐竜ウィルバーの夢は、空を飛ぶこと。失敗しても何度も何度もチャレンジする物語です。

落語絵本



川端誠の落語絵本シリーズ

川端誠・作
クレヨンハウス

ながーい名前「じゅげむじゅげむ…」の秘密が分かるお話や、おいしいさんまの味が忘れられないお殿様のお話など、ユーモアたっぷりの落語を描いた絵本シリーズです。

幸せを考える本



ぼくは13歳 職業、兵士。

鬼丸昌也、小川真吾・著
合同出版

ある日、兵士が村にやってきて、ぼくを連れ去った。ぼくはその日から兵士になった。ぼくは人の殺し方を教え込まれ、戦場で戦った…。今も世界で起きている戦争の絶望的な現実を知る一冊です。

あそびと工作



こんなにある 草花遊び

千葉幹夫・文
宮下まさつら・絵
リブリオ出版

草花や木の実を使った面白い遊び方、雨の日の部屋の中での楽しい遊び方などがたくさん載っており、遊びのバリエーションが広がります。

命と体の本



ドラえもん からだシリーズ

坂井建雄・監修
小学館

口から入れた食べ物が、うんこやおしっこになるまで、からだの中でどうなっていくのか…。いろいろなからだの不思議が、マンガで紹介されています。大人も子どもも楽しく読めるシリーズです。

調べる本



ジュニア版 プロジェクトX

NHKプロジェクトX制作班・編
汐文社

様々な分野の成功者たちを取り上げたNHKのドキュメンタリー番組「プロジェクトX」を、分かりやすく書き下ろしたシリーズです。日本人の知性や勇氣、行動力の素晴らしさが詰まっています。

The book is my friend.

町教育委員会では、図書コーナー新設の目的として、①子どもたちが本に触れ合う時間を多くする②子どもから大人まで本に親しめる場所とする③子どもたちが安心して放課後の時間を過ごす場所とする④人々が集まりやすい場所とする一を掲げています。子どもたちへの読み聞かせや、保育所児童の読書の時間を設けるなど、地域住民・保育所・学校が連携して、本に親しむ機会をつくっていきまします。また、昔語りや各種講演会、ミニコンサートなど、皆さんが楽しめる様々な企画を実施していきたいと思います。新刊や、おすすめの本は、「広報みしま」で毎月紹介していく予定です。平日の午後2時から午後6時は、子どもたちのための「読書と学習の時間」係員を配置し、安心して過ごせる時間をつくります。

本はともだち

図書コーナーおすすめの10冊

楽しい絵本、感動する物語
子どもから大人まで
もっともっと読書を楽しもう



楽しい図書コーナーを
みんなで作ろう
アイデアを募集します

皆さんの自由な発想によるアイデアを募集しています。町教育委員会へお気軽に声を掛けてください。

①自分の趣味の○○○を集めたコーナーが欲しい。
②最近気になる○○○の企画コーナーを作ってほしい。

町教育委員会
TEL 48-5599



「絵本とお話の会」による読み聞かせ。小平佳子さん＝西方＝が、優しい語り口で子どもたちに絵本を読んでも聞かせる。子どもたちは自然に絵本の世界へ引き込まれていく。



始めよう 本のある暮らし

読書は、読む力、書く力、話す力
そして豊かな心をはぐくみます

楽しく居心地が良い
立ち寄りたいたいと思える
そんな図書コーナーを目指します



1 北館緑さん＝西方＝が子どもたちに絵本を読み聞かせる。
2 楽しそうに本を読む子どもたち。

「わあ、すごい」
三島小の子どもたちは、きれいで新しい図書コーナーに大喜び。本棚へまっしぐらに駆け寄ります。今日は「絵本とお話の会」による読み聞かせの日です。小平佳子さん、北館緑さんと共に西方さんが、1、2年生の子どもたちに絵本を読み聞かせました。最初は騒いでいた子どもたちも、次第に耳を傾けるようになっていきまし。いつの間にか、図書コーナーは静まり返り、子どもたちは絵本だけを見つめています。

「絵本とお話の会」は、定期的に子どもたちへの読み聞かせを行っています。小平さんや北館さんは、子どもも大人も「読書離れ」がさらに進んでいるのではないかと話します。
「今の子どもたちは、マンガもあまり読まなくなっているようです。身近に本がないのだと思います。それは大人の皆さんも同じではないでしょうか」

確かに私たちの生活は、ゲーム機や携帯電話、インターネット利用が普及した分、本から遠ざかっているように思えます。何かを調べるときも、本を探すよりインターネットを検索利用する方が早くて便利です。しかし私たちは、本を読まなくなつた分、文章を読む力、書く力、そして話す力が弱くなっているのではないのでしょうか。
「KY(空気が読めない)という流行語があります。たくさん本を読んでいる子は、人の気持ちを想像することができ、正しい言葉話すことができるようになると思います。読書は豊かな心をはぐくみます。皆さんの希望に応えて、少しずつ新刊が増え、喜

ばれる図書コーナーになってほしいですね」

三島町や近隣町村には、都市部にあるような図書館がありません。多くの本に触れるためには、会津若松市などの図書館に行くか、書店で購入するしかありません。
そのような中で、もつと本に親しめるように、独自の取り組みをしている方々がいま

司書の方などの努力により「コンビニのように立ち寄りたい学校図書館づくり」が進められ、多くの生徒たちが読書に親しんでいます。朝の開館前は、生徒の行列ができるほどだそうです。
三島町でも、この新しい図書コーナーが、住民の皆さんにとって、楽しく居心地の良い場所となるよう工夫していきたいと思っています。
さあ、本のある暮らしを始めませんか。町民センター図書コーナーへ行ってみましょう。
特集「本を読みに行こう」終わり

町民センター階図書コーナー 愛称を募集します

■応募方法
応募用紙に記入し、町教育委員会にお届けください。用紙は町教育委員会で配布しています。

■応募締切 3月18日(水)

■選考基準

① 図書コーナーにふさわしい愛称であること。

② 子どもから大人まで親しみやすい愛称であること。

③ 行ってみたいと思えるような愛称であること。

■選考数

◎ 入選(採用) 1点

賞状、副賞(図書カード2000円分)

○ 佳作 3点

副賞(ノート3冊)

■決定

広報みしま4月号
でお知らせします。

町教育委員会
TEL 48-5599



ズームイン みしま



1 早戸生活改善センターで行われた意見交換
2 過疎地域の高齢化などの現状を、国会議員や国の担当者に訴える目黒卓男早戸区長ら



過疎地域への支援を要望

自民党過疎対策特別委員会が早戸地区で意見交換

自民党過疎対策特別委員会の方々 が 2月18日、早戸地区を訪れ、地区住民と意見交換を行いました。訪れたのは、玉澤徳一郎衆議院議員、鶴保庸介参議院議員、谷公一衆議院議員、渡部篤衆議院議員、森まさこ参議院議員、佐藤啓太郎過疎対策室長など。早戸地区からは、目黒卓男早戸区長、佐久間源一郎佐久間建設工業株式会社社長、佐久間定雄さん、佐久間弥一さんが出席し、過疎地域への支援を要望しました。



新製品の「桐チェスト」などが展示された会場



早戸温泉つるの湯で入浴した後、五十嵐七重さん＝西方＝の昔語りを楽しむ参加者

冬の楽しみが「てんこもりー」

商工会青年部企画の自然体験ツアー

只見川ライン商工会青年部の企画による自然体験ツアー「冬のメモリーてんこもりー」は、2月13日から15日にかけて行われました。首都圏から11名が参加し、三島町、柳津町、金山町、只見町を観光しました。三島町では、早戸温泉つるの湯でゆっくりと入浴した後、五十嵐七重さん＝西方＝の昔語りを楽しみました。また、雪と火のまつりにも参加し、角田伊一さん＝川井＝から「サイの神」について説明を受けるなど、雪国の暮らしの文化に触れました。

3日間のツアーを満喫された参加者の皆さん。四季折々の美しい自然が広がる奥会津に、何度も訪れていただきたいと思います。

現代住宅にもマッチ 桐の新製品

会津桐新製品展示会

販売が伸び悩む会津桐製品の復活をかけて、会津桐新製品展示会「桐源郷 奥会津の底力」が2月14日、交流センター山びこで開催されました。会津桐タンス(株)の主催。三島町、(株)有紀、山と木の市場実行委員会の後援。会場には、会津桐タンス(株)が、郡山市の業者ラ・ビーダのデザイン協力を得て制作した「桐チェスト」など、現代の住宅にマッチし価格を抑えた新製品が展示されました。そのほか、桐のサーフボードや、多摩美術大学の学生たちが制作した様々な試作品なども展示され、来場者の関心を集めていました。この展示会をきっかけに、新たな桐製品の需要拡大が期待されます。

図 会津桐タンス(株) TEL 0241-52-3823



1 豪快に燃え上がる5本の「サイの神」 2 申込者の願いを込めて打ち上げられた花火 3 4 老人クラブ女性部と三島中女子生徒が団子を作り、会場を「だんごさし」で飾った 5 大登の集落内から会場まで歩いた「鳥追い」 6 子どもから大人まで楽しんだ雪上綱引き 7 写真左から森田明日香さん(中2)＝川井、酒井萌さん(中2)＝高清水、目黒里佳子さん(中1)＝宮下、二瓶遥さん(中1)＝大谷＝の4名がまつりを取材した 8 あんこう鍋の模擬店を出した、いわき市四倉ふれあい市民会議の皆さん 9 にぎわった模擬店



サイの神、鳥追い、だんごさし 民俗文化に染まった雪と火のまつり

いわき市四倉から50名が参加 浜と奥会津の交流深める

第37回雪と火のまつりは2月14日、町民運動場で開催され、多くの模擬店でにぎわいました。会場には老人クラブ女性部の皆さんと三島中女子生徒が作った「だんごさし」が飾られたほか、「鳥追い」と「サイの神」が再現され、会場は雪国の民俗文化に染まりました。「サイの神」は、川井地区の方々、松原地区の方々、三島中男子生徒、三島小5・6年生、そしていわき市四倉ふれあい市民会議の皆さんがそれぞれ制作した5本が立ち並び、豪快に燃え上がりました。また、バレンタインデーにちなんで「御祈願・愛の告白花火」では、申込者それぞれが願いを込めて打ち上げられました。そのほか、雪上綱引きや福々みかん拾いなどのイベントも行われ、子どもからお年寄りまでが参加して楽しみました。今回は、三島中生徒の酒井萌さん、高清水ら4名が、取材班として写真撮影をしたり、参加者にインタビューをしたりしました。37回の歴史あるまつりは、町内60、町外72、計132の事業所からのご協賛で支えられました。

表彰

Congratulations

保健委員会事業功労者表彰

坂内アイ子さん

町保健推進員会長

坂内アイ子さん＝宮下＝が、会津保健所地区保健委員会連合会による保健委員会事業功労者表彰を受賞しました。坂内さんは平成13年4月から町保健推進員を務め、町の保健衛生全般の協力、町民への健康普及活動にご尽力されてきました。平成17年から町が推進している「国保ヘルスアップ事業」にも積極的に参加され、健康づくりのリーダーとして活躍されています。平成19年4月からは町保健推進員会長として、研修会を企画立案するなど、保健活動の向上に努めています。

坂内さんは「町の方々が応援してくれたおかげで、このような表彰を受けることができました」と喜びを語りました。



表彰状を手にする坂内アイ子さん

緑化功労者表彰

西方共有財産管理会

(会長 二瓶一男さん)

西方共有財産管理会が、(社)福島県緑化推進委員会による緑化功労者表彰を受賞しました。西方地区住民によって構成される同管理会は、長年にわたり里山の緑化保全作業や、間伐、枝打ちなどの造林作業に積極的に取り組んできました。町の木である「会津桐」の育成にも力を注いでいます。また、約4畝にカタクリの花やオオヤマザクラが咲く「大林ふるさとの山公園」の保全作業を毎年行っており、美しい景観づくりに大きく貢献しています。

会長の二瓶一男さんは「本当に光栄なことです。これからも緑豊かな里山を地域の財産として守っていききたいです」と話していました。



表彰状を手にする西方共有財産管理会会長二瓶一男さん



齋藤茂樹町長に寄付金を手渡す大津善美只見川ダム管理所長

雪と火のまつり模擬店の収益金を町社会福祉協議会へ寄附

東北電力只見川ダム管理所

東北電力只見川ダム管理所の方々は、毎年雪と火のまつりに豚汁や甘酒などの模擬店を出店し、その収益金を町社会福祉協議会にご寄附くださっています。今年は、大津善美所長が2月25日に役場を訪れ、町社会福祉協議会長の齋藤茂樹町長に収益金26,600円を手渡しました。ありがとうございました。



活発な審議が行われた三島町振興計画審議会

三島町の課題や将来像について議論

三島町振興計画審議会

三島町振興計画審議会は2月5日、町民センターで行われ、13名の委員が出席して、今後3年間の町づくり計画を中心に審議しました。審議会では「町村合併については、今後も忘れないように計画に入れておいたほうがよい」「町内に未婚者が多いので、結婚対策について考えてほしい」「ブロードバンド整備において、各世帯の端末は高齢者でも簡単に使えるよう配慮してもらいたい」「地区の隣組は、最小単位の自治組織として維持していけるよう検討が必要」などの意見が出され、町への答申としてまとめられました。

連載

心の医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー

部局紹介 その① 看護部

宮下病院は、医師や検査技師、レントゲン技師、栄養技師が所属する診療部のほか、看護部、薬剤部、事務部の4つの部門で構成されています。今回は、看護部長以下23名の看護師が所属している看護部を紹介します。

外来

当病院の診療科は、内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神神経科を開設しており、医師の指示のもと6名の看護師が外来勤務に従事しています。外来においては、患者様とお話しするときには患者様のお顔に近づき、笑顔で寄り添いながら、安全を第一にきめ細やかな対応を心がけております。昨年7月からは当院外来待合室で、定期的に「転倒予防教室」を開催しております。毎回多くの方々にご参加いただき、外来看護スタッフ一同、意欲的に取り組んでおります。また、「訪問診療・訪問看護」を月に数回行っており、患者様やご家族の方々と心の通う医療、看護の提供に努めております。

病棟

病棟は、17名の看護師により、入院から退院まで責任を持って担当する受持制をとっています。また、担当看護師が不在でも安心して入院生活を過ごせるように、チームを組んで入院患者様の症状などに関する情報交換を行い、より良い看護のための話し合いを行っています。また、週に1回、医師や薬剤師、栄養技師と共に、今後の治療方針や適切な援助方法について話し合い、患者様の立場に立った心ある医療、看護の提供に努めております。

外来も病棟も“元気で優しく”をモットーに、患者様やご家族の皆様と接していきたいと思っております。困り事や悩み事はありますか。私たち看護師が出前講座などで地域に出向いた際には、お気軽にご相談ください。

〒962-8501 福島県立宮下病院事務部 TEL 52-2321

これからの行事予定 town schedule

- 3月5日(木)～12日(木)
10:00～ 議会定例会 (役場2階議場)
- 3月13日(金)
9:30～ 三島中卒業式 (三島中体育館)
- 3月15日(日)
13:00～ 連携・協働による奥会津歳時記の郷づくりシンポジウム (町民センター)
- 3月16日(月)
10:00～ 社会福祉協議会理事会 (福寿草)
- 3月18日(水)
13:30～ 社会福祉協議会評議員会 (福寿草)
- 3月21日(土)
10:00～ 奥会津こども聞き書き百選発表会・懇談会 (交流センター山びこ)
- 3月23日(月)
9:00～ 三島小卒業式 (三島小体育館)
- 3月27日(金)
10:00～ Y Yサークル (昭和村 すみれ荘)
- 4月2日(木)
13:30～ 民生児童委員協議会定例会 (福寿草)

- 《社会福祉協議会より》
- 生きがいデイサービス「サロン事業」の予定**
- 桜原はつらつクラブ**
3月17日(火)10:00～ 桜原多目的集会所
- 滝谷和楽塾**
3月19日(木)10:00～ 滝谷集会所
- 高清水・小山いきいきサロン**
3月24日(火)10:00～ 高清水集会所

みんなで健康づくり《教室・健診の予定》
園 役場 町民課 保健福祉係 TEL 48-5565

- 間方地区健康相談**
3月10日(火)13:00～ 間方集会所
- 大登地区健康相談**
3月11日(水)9:30～ 大登生活改善センター
- 荒屋敷地区健康相談**
3月12日(木)9:30～ 荒屋敷集会所
- 名入地区健康相談**
3月12日(木)13:30～ 名入集会所
- 滝原地区健康相談**
3月13日(金)9:30～ 滝原林業集会所
- 足腰げんき教室**
○水中運動編
3月19日(木)13:00～ 町民センター集合 河東学園プール
- 室内運動編
3月25日(水)13:30～ 町民センター
- 機能訓練会**
3月25日(水)14:00～ 福寿草
- スッキリサラサ教室**
3月26日(木)13:00～ 町民センター



町営スキー場の営業は
3月8日(日)が最終日です

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税として

首都圏三島会
酒井孝喜様 (群馬県中之条町)

社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

渡部敬貴様 (宮下)
鈴木隆様 (桜原)
角田敏美様 (宮下)
志田英雄様 (宮下)
長谷川一雄様 (桑原)

平成21年度地域づくり
総合支援事業募集のお知らせ

役場 総務課 企画財政係

この事業は、住民が主役の個性と魅力ある地域づくりの推進に寄与することを目的に、民間団体や地域コミュニティ組織などの活動に対して、県が補助するものです。

●募集期間 4月20日(月)～5月13日(水)
●補助対象 ①民間団体②行政区などの地域コミュニティ組織
●対象事業 ①民間団体が主体的に行う地域振興の取り組みで、広域的な視点に配慮された事業または先駆的な事業②地域コミュニティの再生に関する事業及び計画策定事業

※助成額など詳しくは下記までお問い合わせください。

園 役場 総務課 企画財政係
TEL 48-5515

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では1月中、犯罪は発生しませんでした。振り込め詐欺の被害防止のため、「それうそかも」の運動を実施しています。被害に遭わないよう十分注意してください。

- 「そ」…相談する (警察に相談する)
- 「れ」…連絡する (家族へ連絡する)
- 「う」…うのみにしない
- 「そ」…送金しない
- 「か」…確認する
- 「も」…もう一度確認する

街頭犯罪等発生状況 (1月)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍込み		
事務所荒し		
出店荒し		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪計	1	0
全刑法犯	9	0

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・傷害・万引き等)の犯罪発生件数が含まれます。

平成21年度地域づくり
応援事業募集のお知らせ

あいづふるさと市町村圏協議会

全会津17市町村などで構成されている「あいづふるさと市町村圏協議会」では、地域づくり・人づくりなどを積極的に実践する団体に対し、補助金を交付します。

●募集締切 3月13日(金)
●補助金額 最大70万円(補助対象経費の3分の2以内)
●対象事業 ①広域的な波及効果のあるソフト事業②地域の特色・特徴を出したソフト事業③地域間交流につながるソフト事業—など

●申請書の入手方法 あいづふるさと市町村圏協議会ホームページ「パーフェクトあいづ」からダウンロードしてください。

http://www.aizu-furusato.com

- 申請窓口 役場総務課企画財政係
 - 結果通知 5月下旬予定
- 園 役場 総務課 企画財政係
TEL 48-5515
あいづふるさと市町村圏協議会
TEL 0242-24-6312

自動車の登録・抹消は
お済みですか?

福島県会津地方振興局 県税部

自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている名義上の所有者に課税されます。例年、「持っていない車の納税通知書が来た」などの多くのトラブルが発生しています。納税通知書が間違いなく届くように、住所が変わったときや、自動車を譲り渡したとき、下取りに出したとき、廃車にしたときは、3月31日までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

園 福島県会津地方振興局 県税部
TEL 0242-29-5261

三島町の人口と世帯
(2月1日現在)

人口	2,142	-5	出生	0
男	1,010	-2	死亡	5
女	1,132	-3	転入	4
世帯	860	-1	転出	4

※住民基本台帳による数値です。

国家公務員 I 種・II 種・III 種
採用試験のお知らせ

人事院東北事務局

- I種試験 (大学卒業程度)
■受付 4月1日(水)～4月8日(水)
■第1次試験 5月3日(日)
- II種試験 (大学卒業程度)
■郵送による受付 4月13日(月)～4月22日(水)
■インターネットによる受付 4月11日(土)～4月15日(水)
■第1次試験 6月21日(日)
- III種試験 (高校卒業程度)
■受付 6月23日(火)～6月30日(火)
■第1次試験 9月6日(日)

※申込用紙の請求、受験資格など詳しくは下記までお問い合わせください。
園 人事院東北事務局 第二課 試験係
TEL 022-221-2022
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

予備自衛官補を
募集します

自衛隊会津若松出張所

- 採用対象 自衛官未経験者
 - 採用年齢 一般公募は18歳以上34歳未満、技能公募は保有資格に応じて18歳以上55歳未満
 - 手当日額 7,900円
 - 応募締切 4月13日(月)
 - 試験日 4月18日(土)～4月20日(月)のいずれか1日を指定します
 - 試験場所 福島県内1箇所(別途通知します)
 - 合格発表 5月22日(金)
 - 処遇 交通費支給、作業服貸与、食事支給、公務災害補償
- 園 自衛隊会津若松出張所
TEL 0242-27-6724

会津保健福祉事務所
会津坂下支所統合のお知らせ

福島県会津保健福祉事務所

会津保健福祉事務所会津坂下支所は、4月1日から会津保健福祉事務所(本所)に統合されます。詳しくは下記までお問い合わせください。
園 福島県会津保健福祉事務所
TEL 0242-29-5503

歳時記 萌の会

雪消雨赤ゴム靴が目沁みる
想い出は鉄鍋木柄杓屑の芋

宮下 佐藤 朋良子

節分や支線の汽笛高々と

櫛の歯の汚れ気になり日脚伸ば

名人 小柴 富枝

PROFILE

板橋 寛

いたばし・かん

1982年生まれ、26歳。東京在住、三島町宮下出身。会津工業高校でボクシングを始め、東北大会3位。専門学校に進学後はキックボクシングを始め、現在はフィットネスクラブのスタッフとして働きながら練習に励む。得意技は左ストレート、左ミドルキック。スクランブル渋谷所属。167cm、60kg

「普段の生活や練習について聞かせてください。」
 昼間、ジムで毎日3時間ほど練習し、夜11時まではフィットネスクラブのスタッフとして働いています。
 試合のファイトマネーは挑戦者で10万ほど。王者になると3、4倍になります。そのほかKO賞などもあります。

会津の根性を見せたいです。まだまだこれから。

将来は会津に帰りスポーツや福祉に貢献したいです。

「おめでとうございます。まず、王者となった感想を聞かせてください。」
 皆さんのサポートがあったからです。下馬評では裕樹選手が勝つと思われていたようですが、番狂わせを実現できてうれしいです。
 「ライズ」とは、どんな競技なのですか？
 キックボクシングのような競技で、有名な「K-1」の登竜門的な大会です。2000年ごろから始まりました。
 「普段の生活や練習について聞かせてください。」
 昼間、ジムで毎日3時間ほど練習し、夜11時まではフィットネスクラブのスタッフとして働いています。
 試合のファイトマネーは挑戦者で10万ほど。王者になると3、4倍になります。そのほかKO賞などもあります。

「王者に就いた今、一つの目標が達成されましたが、今後は何を指しますか？」
 まだまだこれからです。次の目標は「K-1」出場です。「K-1」は、こうなれば出場できるというものではありません。声がかけて初めて出る事ができます。そのためには、実力はもちろん、もっと知名度を上げていかないと。福島県は陸上選手など有名ですが、格闘技でもいるぞとアピールしていきたいですね。会津若松にもボクシングジムができたらしいので、良い選手が育ってほしいです。

「60kg級ですが、減量はどんなふうに行うのですか？」
 試合前の1週間で5kgほど落とします。毎日リングだけとかで。前日の計量をパスすれば、あとは自由に食べます。今はもう68kgぐらいありますよ。



ライズ60kg級タイトルマッチ。板橋寛=写真右=が裕樹から4度のダウンを奪い、大差の判定で勝利した。

板橋寛 戦績

- 2005年 浦田大輔に判定勝ち
浦田大輔にKO勝ち
加藤潤一に判定勝ち
濱島康大に引き分け
- 2006年 高橋正也に判定勝ち
龍馬に判定勝ち
末広智明にKO負け
- 2007年 KAWASAKIに判定勝ち
菅原勇介に判定勝ち
末広智明にKO負け
長岡理都に判定勝ち
- 2008年 黒田アキヒロに引き分け
ファイヤー勇士に判定勝ち
秋山優に判定勝ち
宮下トモヤにKO勝ち
末広智明に判定勝ち
- 2009年 裕樹に判定勝ち
(60kg級タイトル獲得)

17戦13勝2敗2分 (2KO)

チャンピオンベルトを肩に掛ける板橋寛さん。対戦相手の裕樹選手のキックを受けた足はパンパンに腫れ上がっていたが、表情は達成感に満ちていた。そしてその目は、すでに次の目標を見据えている。(タイトルを取った4日後の2月4日、宮下の実家前で撮影)

板橋 寛さん

格闘技「ライズ」60kg級王者

番狂わせのタイトル奪取
目標はK-1出場





同時開催

第28回

三島町生活工芸品展

3月14日(土)・15日(日)
三島町生活工芸館

第8回

全国編み組工芸品展

3月14日(土)～22日(日)
三島町交流センター山びこ
※16・19日は休館日

開館時間 午前9時～午後5時

ヒロロ、マタタビ蔓、山ブドウ蔓などを材料とした、三島町の国指定伝統的工芸品「奥会津編み組細工」が多数出品、販売されます。そのほか全国の優れた編み組工芸品が集結。この機会に、自然素材の魅力に触れてみませんか。

体験コーナー

「奥会津編み組細工」製作体験

ヒロロコースター・山ブドウ携帯ストラップ作り

- 主催 三島町・奥会津三島編組品振興協議会
- 後援 経済産業省・林野庁・東北経済産業局・福島県・(財)伝統的工芸品産業振興協会・福島民報社・福島民友新聞社・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島

☎ 三島町生活工芸館 TEL 0241-48-5502



編集後記

▼携帯電話もインターネットもテレビもなかった時代は、本や新聞、雑誌、マンガなどを読むことが、今よりもずっと多かったと思います▼テレビは、何も考えなくても情報がどんだん頭に入ってきます。それに比べて、文字を読むことは頭を使います。読むことで、書く力や話す力もついていくと思います▼しかし、テレビやインターネットを見ないわけにもいきません。様々な情報源をバランスよく利用することが大切ではないでしょうか。「広報みしま」も、皆さんが読みたいと思える情報誌を目指しています▼子どもに「本を読みなさい」と言う前に、まずは大人が本を手にとってみましょう。